

## 育 Me 科 学習指導案「上手な教え方」

○ねらい

相手の感情を読み取ることの重要性を理解し、感情を読み取るためのヒントを用いて感情を読み取る練習をする。

	活動内容	進め方・支援	育 Me 科の視点
導入	<p><b>1 あいさつ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の学習内容をペアで確認する。</li> </ul> <p><b>2 学習内容の理解</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師がモデリングを見せる。</li> </ul> <p>【場面1】掃除の時間、後期課程の生徒Aが前期課程の低学年の児童Bに。 A:あそこにある雑巾を手洗い場で洗って、それで机を拭いてよ。 【場面2】理科の時間、実験をする同じ学年の仲間に。 B:ちょっと助けてほしいんやけど、大丈夫。ここまではできたんやけど、ここからどうするといいんやっただけ、教えてくれん？ A:いいよ。こうすればいいんやさ。(自分でやってしまう) <li>・モデリングから「上手な教え方」のポイントを理解する。</li> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①言葉遣い ②相手のペースに合わせる ③相手の考えを引き出す ④理由や効果を教える</p> </div> <p><b>3 本時の課題</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>状況や相手に応じて上手に教えよう。</p> </div> </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の言葉で話させる。</li> <li>・モデリングから気持ちを把握することができる良さを理解させたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わかりやすい伝え方」(R5)「非言語的コミュニケーション」(R5)を用いて、相手に理解してもらえるよう丁寧に話させる。</li> <li>・「わかりやすい伝え方」も重要になる。</li> <li>・場面や状況によっては、「⑤相手が知りたいことを確認する⑥例えを出す⑦タイミングを伺う」も必要になることをおさえる。</li> </ul>
展開	<p><b>4 グループ活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4人1グループ(A:教える B:教えてもらう CD:評価者)</li> <li>・スライド資料で示した場面や状況に応じて、各グループでロールプレイをする。役割を順番に回す。</li> <li>・数回役割を変えたら、次のスライドを提示し、同じように活動を繰り返す。</li> </ul> <p>※資料1</p> <p><b>5 全体交流</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動で行った内容を全体場で数人の生徒が行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や状況に応じて、ポイントを意識した教え方ができているか確認する。</li> </ul>	
まとめ	<p><b>6 ふりかえり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動の姿と普段の姿を比較し、普段の自分の教え方を振り返らせる。</li> <li>・振り返りを記入する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【出口での生徒の意識】 普段の生活では、ぶっさらばうに教えることが多かったかもしれない。相手を意識して上手に優しく教えたい。</p> </div>		